

石川小学校だより

創立10周年を迎え、地域と共に新たな一歩を！



Sekisyo 通信



R6・11・1

NO, 19

文責：校長 酒

めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子



10周年だよ 全員集合!!

～ ○○○の○○あふれる ○○い○○い 石川小学校 ～

今週末に迫った「石川小学校 10周年おめでとうの会」ですが、スローガンも決定（発表は当日）し、いよいよ当日を待つばかりとなりました。

一口に10周年とはいいますが、当時、町内の多くの学校が統合されるという構想を一地域住民として耳にしたときは、登下校はどうするのか？それぞれの学校の特色はどのように生かされるのか？小さな学校の子どもたちは大勢の中で埋もれてしまわないだろうか？と、既に我が子は卒業していましたが、不安に思ったものです。体育館はおろか、校舎も未完成の中での統合。黎明期の子ども達、先生方、そして保護者の皆さん、関係者のみなさんの苦勞はいかばりだったかとお察しいたします。

その後、コロナ感染症の混乱の数年間を乗り越え、3年前には沢田小学校の子どもたちも一緒になり、改めてスタートした石小です。創立当時から掲げている教育目標「未来をひらく石川の子」は、我々の道標（みちしるべ）となり続け、多くの方々の方添えをいただきながら今日を迎え、10周年をみんなで祝うことができることに感謝いたします。

今回のイベントのスローガンは、子ども達が自ら考え決定したものです。ここにも同じように多くの思いがしっかりと込められています。まだ、発表されていないので秘密ですが、教育の原点となる珠玉の言葉が並んでいます。課題が山積の教育界、本校も目の前の課題を一つ一つ解決しながら進み続けているところです。しかし、やはり学校は楽しくなくてははいけません。子ども達の笑顔が教室にあふれ、大きな笑い声が響き合うところでなければいけない。と、改めて感じます。秘密のスローガンは子ども達から私たちへのメッセージと受け止めています。

学校の主役は子ども達。「子ども達の、子ども達による、子ども達のための学校」となるための貴重な機会として今回のイベントを位置づけ、スタッフ一同「未来をひらく石川の子」の育成に努めます。学校、保護者、地域が一つとなって歩みを進める学校を目指します。保護者の皆様にはどうか、引き続きの深い理解とご協力をお願いします。

当初は会場に多くの方々（保護者・地域・関係者）をお招きしてのイベントを考えていましたが、会場の関係で叶わず、3部構成の1部と3部はオンライン配信としました。

ちなみに、思いが詰まりすぎて、分刻みのスケジュールとなり、第1部での校長の話も係りから「出来るだけ短く」と提示されました。本当は30分くらい話したいところですが、子ども達からのブーイングも起こりそうなので諦めます。（笑）その代りではありませんが、来賓あいさつの中で創立時の校長、矢吹伸一様より、石小黎明期の苦勞話やエピソードなど貴重なお話しいただけます。どうぞ、オンラインでお楽しみください。



☆☆ ご協力心より感謝申し上げます。（通常の5倍以上の回収量）

今回の「10周年おめでとうの会」、オープニング行事の他、親子ワンダフルコンサート、いしかわ小フレンドパークとお楽しみが目白押しですが、密かに子ども達が期待しているのは、記念缶バッチ。何せ、公認キャラクター(当日発表)が印刷された、石川小限定モデルですので、ワクワク缶、いえワクワク感は募るばかり。それになんといっても今回のこの企画は、児童会が中心となってアルミ缶の回収を呼びかけ、それらを換金し、缶バッチの資金の一部とするものですので、一人一人の思いが違います。

回収を呼びかけたのは、今月に入ってからです。少しずつ高く積み上がる体育館裏のケージをのぞくのがいつの間にか毎日の楽しみになりました。

しめ切り間近の30日も、レジ袋やゴミ袋を片手に登校してき子ども達。声を掛けると…。



重くなかった？ずいぶん沢山だね。
もう2回目ですよ、先週も持ってきました。
え～、すごいこんなに！誰が集めてくれたの？
じいじとお母さん。

自慢げに中身までしっかり見せてくれました。

「捨てればゴミ、分ければ資源」というキャッチコピーがCMで流れたのは随分前ですが、SDGsが注目される昨今、とても意義のある取り組みが実践されています。保護者の皆様の多大なるご協力にも心より感謝します。（微力ながら、私も毎日の晩酌を欠かさず行い、アルミ缶の収集に努めました。）今日現在のところ、通常の月の約5倍以上の速さで積み上がっているアルミ缶です。業者への引き渡しも近日中に行います。

さて、楽しみにしている缶バッチですが、予定より出来上がりが遅くなってしまい、残念ながら明日の「おめでとうの会」には間に合いません。お楽しみはちょっとだけ先延ばしになります。

なお、空き缶の回収は今後も続き、これまで通り児童会の活動資金となりますので、引き続きのご協力をお願いします。

☆☆ 教育実習生がやってきた。

先々週より、本校OBの遠藤さんが、教育実習生として2年生のクラスで実習を重ねています。

実習も残り少なくなった昨日は「一日経営」といって、朝の会から帰りの会までの一日の全てを一人の担任としてクラスの経営を担いました。

子ども達を下校させての放課後、校長室で感想を尋ねると、

一日を通して、なかなか思うようにいかず、とても大変でした。
でも、教師になりたいという思いが強くなりました。
自分はやっぱり子どもが好きなんだなあ、と改めて思いました。



と、次々と飛び出す感想からは、教師になりたいという決意が感じられます。同席した指導教諭からも太鼓判が押されました。

実習生の懸命な姿に、指導教諭だけでなく当時を振り返った先生方も多かったようです。我々にとっても意義深い実習生の受け入れとなりました。遠藤さんの教育実習は、11月2日が最後になります。

今後の益々の活躍を期待します。がんばれ遠藤先輩！